MITSUBISHI

三菱ユニットクーラ(UCH・UCL・UCR形)

取扱説明書

UCH-08・1・1.6・2・3VN
UCL-08・1・1.6・2・3VH
UCR-Z1・Z1.6・Z2・Z3VH
UCH-4・5・6・8・10・15VN
UCL-4・5・6・8・10・15VH(G)
UCR-Z4・Z5・Z6・Z8・Z10・Z15・Z20VH(G)
UCR-Z5・Z8・Z10WG
UCH-2・3・4・5・6DN
UCL-2・3・4・5・6DH
UCH-4・6・8WN

安全のために必ず守ること……1
使用上のご注意……3
各部のなまえ……4
ご使用方法……5
お手入れのしかた……5
保証とアフターサービス……6

このたびは三菱電機ユニットクーラをお買い求めいただきまして，まことにありがとうございます。

- ご使用の前に，正しく安全にお使いいただくため，この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し，必要なときお読みください。
- お客様ご自身では，据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)

安全のために必ず守ること

- ご使用の前に，この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は，安全に関する重大な内容を記載していますので，必ず守ってください。
  表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

本文中に使われる〝図記号〟の意味は次の通りです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い，行ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	電源は必ず切ってから行ってください。
	触れたり，指や棒を入れないでください。

- お読みになった後は，工事説明書とともに，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

お客さま自身で据付けはしない。

- 据え付けは，販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると水漏れや感電・火災・ケガの原因となります。

アース工事を行う。

- アース工事を行ってください。
  アース線はガス管・水道管・避雷針・
  電話のアース線に接続しないでください。
  アース工事に不備があると，感電の原因になることがあります。

製品本体を水洗いしない

- 製品本体に直接水をかけたり，しないでください。
  ショート・感電の原因となります。

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

- 内部でファンが高速回転していますので，ケガの原因になります。

お客さま自身で移設しない。

- 移設は、販売店または、専門業者にご相談ください。
  据え付け不備があると水漏れ，感電・火災等の原因になります。

お客さま自身で修理しない。

- 販売店または専門業者以外の人は絶対に分解したり，修理・改造は行わないでください。分解，修理・改造に不備があると異常動作によりケガをしたり，感電・火災等の原因になります。

異常時は運転を停止して，電源を切る。

- 異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか，元電源を切ってください。異常のまま運転を続けると感電，火災の原因になります。

安全のために必ず守ること

⚠注意

⃠ 濡れた手でスイッチや電気部品を触れない。

● 濡れた手でスイッチや電気部品には，触れないでください。触れますと感電の原因になることがあります。

⃠ 可燃性スプレーを近くで使用したり，可燃物を置かない。

● 可燃性のスプレーを近くで使用したり，可燃物を置かないようにしてください。スイッチの火花などで引火し，発火の原因になることがあります。

掃除のときは，必ず運転を停止し，電源を切る。

● 掃除をするときや，整備・点検のとき，必ず運転を停止させ，電源を切ってください。ファンによる感電の原因になることがあります。

⃠ フィンに手を触れない。

● 掃除をする時には，フィンに直接手を触れないでください。ケガの原因になることがあります。

⃠ 配管や配線に触れない。

● 露出している配管や配線に触れないでください。火傷や感電の原因になることがあります。

据え付け台などが傷んだ状態で放置しない。

● 長期使用で据え付け台などが傷んでないか定期的に点検してください。傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながりケガの原因になることがあります。

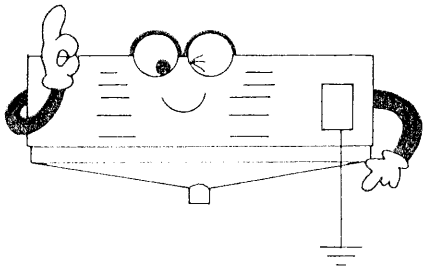
⃠ ユニットに手を触れない。

● 除霜ヒーターに触れると火傷の原因になることがあります。

使用上のご注意

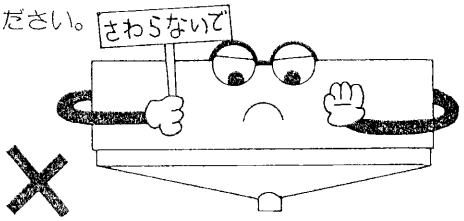
■設置状態を確認してください。

- 安全のため，アース端子から確実にアースが取付けられているか，確認してください。



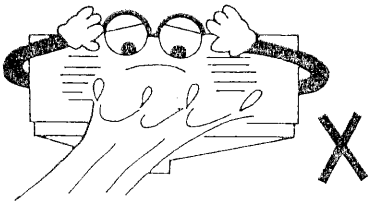
■ユニットのファン・ファンガードに直接手を触れないようにしてください。

- 特に除霜運転の後ユニットは，停止しているファンが突然回転することがありますので電源を切ってから点検してください。



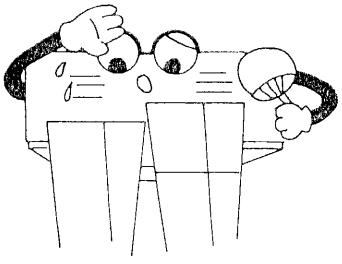
■ユニットに水をかけないでください。

- 漏電のおそれがあります。



■空気の循環をよくする。

- ユニットクーラーの冷気吸込口や冷気吹出口の前に商品を置かないでください。



■腐食性雰囲気では使用しないでください。

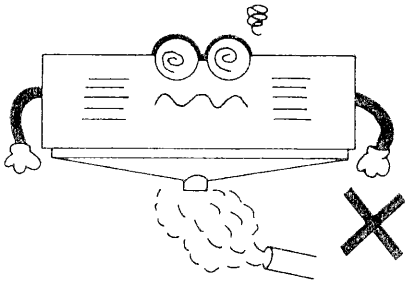
- 酢漬など酸性の食品や塩分を含む食品は，密閉容器に入れてください。密閉されていない場合，冷却器が腐食し故障の原因となります。また，腐敗物がありますと，アンモニアなどの腐食性ガスが発生しますので，腐敗物を放置しないでください。

■危険物および化学薬品の貯蔵には使用しないでください。

- エーテル・ベンジンなど揮発性・引火性の薬品や爆発物を貯蔵しないでください。引火の危険があります。また，ラッカーペイント等の強燃性スプレーをユニットの付近で使用しないでください。
- デフロスト中に多少の温度の上昇がありますので高精度な温度管理が要求される化学薬品等の貯蔵には使用しないでください。

■加湿器を冷気吸込口の近くに置かないでください。

- 加湿器を設ける場合は，加湿器の蒸気が直接ユニットに吸い込まれないように設置してください。蒸気を直接吸い込むと送風機の故障の原因となります。また湿度は90%RH以下でご使用願います。



なお加湿器を使用する場合は，霜付きが早くなりますので霜取りの間隔を見直してください。

■凍結の目的では使用しないでください。（UCR-Z形ユニットの場合）

- 冷凍用は凍結された商品を保存するためで凍結の目的では使用しないでください。

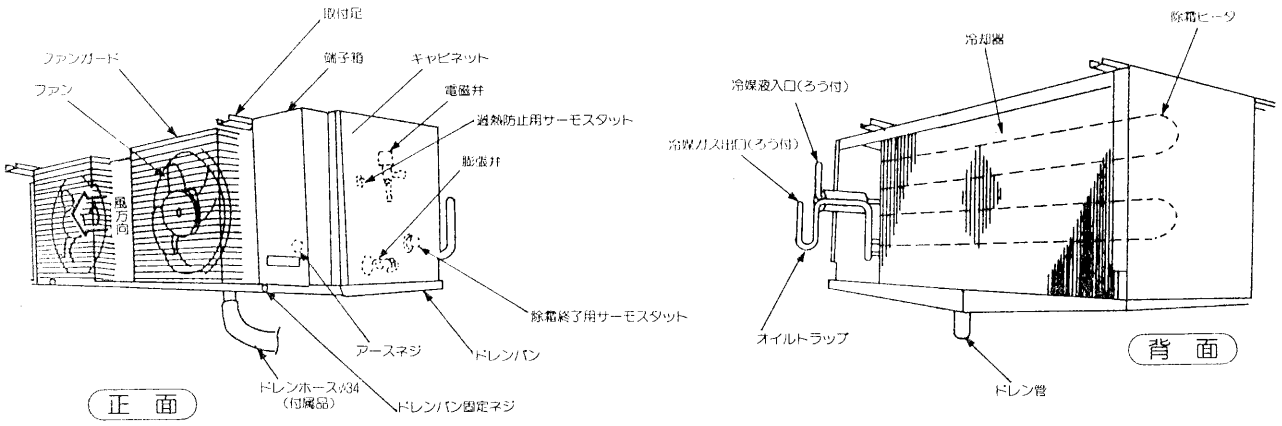
■適正な庫内温度で使用してください。

- ユニットは使用庫内温度により3タイプに分かれています。使用温度に合わせて適切な機種をご使用ください。

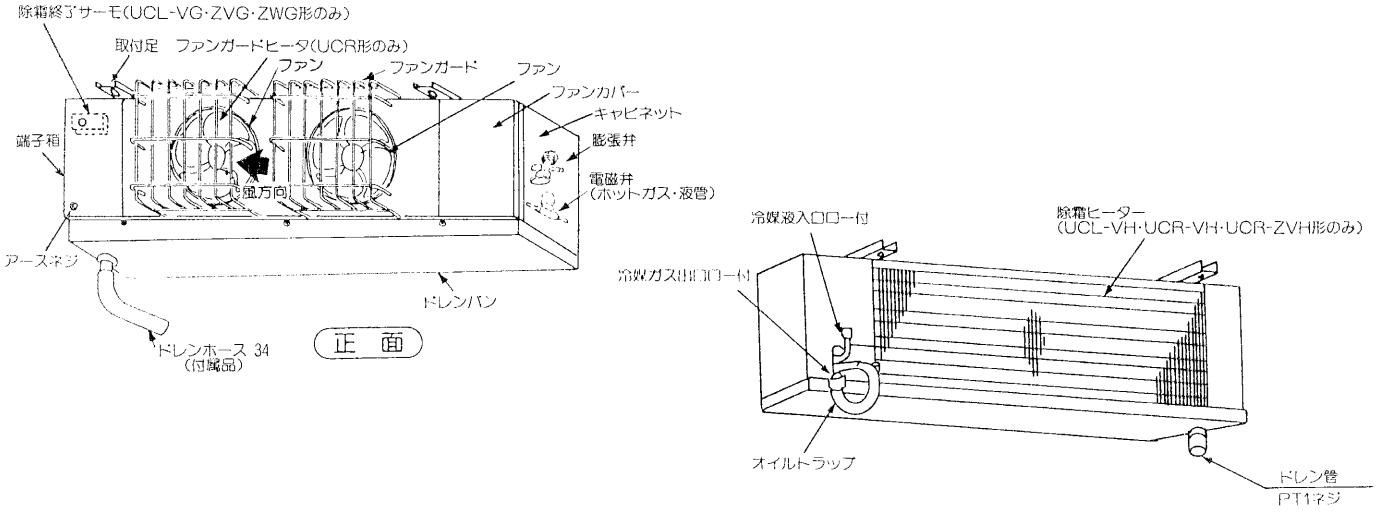
使用温度（庫内温度）

+3℃～+15℃ UCH形オフサイクル除霜
−5℃～+15℃ UCL形ヒータ・ホットガス除霜
−25℃～−5℃ UCR-Z1～3形ヒータ除霜
−30℃～−5℃ UCR-Z4～20形ヒータ・ホットガス除霜

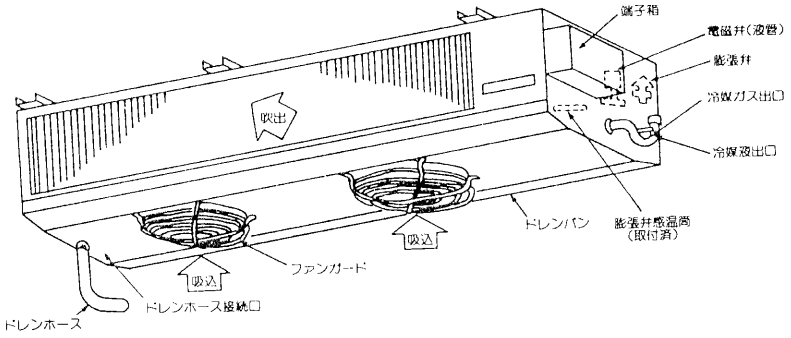
(1)UCH-08·1·1.6·2·3VN, UCL-08·1·1.6·2·3VH, UCR-Z1·Z1.6·Z2·Z3VH



(2)UCH-4·5·6·8·10·15VN, UCL-4·5·6·8·10·15VH(G), UCR-Z4·Z5·Z6·Z8·Z10·Z15·Z20VH(G)
UCH-4·6·8WN, UCR-Z5·8·10WG



(3)UCH-2·3·4·5·6DN, UCL-2·3·4·5·6DH



ご使用方法

ユニットのご使用方法は，施工されました販売店の取扱説明書にもとづいて行ってください。

お手入れのしかた

注意

- お手入れするときは，必ず運転を停止させ電源を切ってください。感電の原因になることがあります。

キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは，中性洗剤をとかしたぬるま湯か水を柔らかい布にふくませて拭き，その後ぬれた布で洗剤が残らないようによく拭きとってください。

ドレンパン（UCL・UCR-VG・WG形は除く）

- ドレンパン固定ネジを外し，布で内側のよごれを拭きとってください。

冷却器

- フィンで手を切らないように手袋をしてください。
- フィンを傷めないように目にそってハケ・ブラシなどで清掃してください。

保証とアフターサービス

1　無償保証期間および範囲

据付けた当日を含め1年間としますが無償にて支給するのは，故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。
ただし2項に記載する使用方法による故障については，保証期間中であっても有償となります。

2　保証できない範囲

- 天災，火災による事故
- ユニット据付，運転，調整，保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は，一切保証できません。
  また，ユニット事故に起因した冷却物，営業補償等の2次補償はいたしませんので当社代理店等と相談の上損害保険で対処してください。

万一異常がありましたら，ただちに運転を中止し運転スイッチを切り，お買い求めの販売店へご連絡ください。

ご連絡の場合は，つぎの3点をハッキリお示しください。

1. 形名(例：ユニットクーラ：UCR-ZIVHC
2. 製造番号 ― 定格名板に記載してあります。
3. 故障内容(できるだけくわしく)

警報装置の設置のおすすめ

保護回路が作動して運動が停止したときに信号を出力する端子を設けていますので警報装置を接続するようにしてください。万一，運転が停止した場合に処置が早くできます。

■設備工事業者

■担当サービス会社

三菱電機ビルテクノサービス株式会社

本社	東京都千代田区大手町2－2－2〈日本ビル〉	〒100	03-3279-8090……大代表
北海道支社	札幌市白石区本通20丁目南4－2	〒003	011-862-0082……代表
東北支社	仙台市青葉区大町1－1－30〈新仙台ビル〉	〒980	022-224-1222……代表
東京支社	東京都港区芝公園2－4－1〈秀和芝パークビル〉	〒105	03-5470-2805……代表
北関東支社	大宮市大門町3－197〈星野第2ビル〉	〒330	048-641-3328……代表
東関東支社	千葉市中央区栄町36－10〈住友商事ビル〉	〒260	043-225-3828……代表
横浜支社	横浜市西区みなとみらい2-2-1〈横浜ランドマークタワー14F〉	〒220-81	045-224-2052……代表
北陸支社	富山市総曲輪1－5－24〈日本生命富山ビル〉	〒930	0764-32-0048……代表
中部支社	名古屋市中区栄4－1－1〈中日ビル〉	〒460	052-263-7635……代表
大阪支社	大阪市北区梅田2－5－2〈新サンケイビル〉	〒530	06-344-1197……代表
中国支社	広島市中区中町7－22〈住友生命平和大通りビル〉	〒730	082-248-2897……直通
四国支社	高松市番町1－6－1〈住友生命高松ビル〉	〒760	0878-22-6063……代表
九州支社	福岡市博多区博多駅前2－1－1〈福岡朝日ビル〉	〒812	092-474-8241……代表

三菱電機株式会社

本社産業冷熱営業部	東京都港区赤坂5－2－20〈赤坂パークビル〉	〒107	03-5573-3691……直通
北海道支社冷熱住設課	札幌市中央区北二条西4－1〈北海道ビル〉	〒060-91	011-212-3735……直通
東北支社冷熱住設課	仙台市青葉区上杉1－17－7〈三菱電機・明治生命仙台ビル〉	〒980	022-216-4612……直通
新潟支社冷熱住設課	新潟市東大通2－4－10〈日本生命ビル〉	〒950	025-241-7224……直通
北関東支社冷熱住設課	大宮市大成町4－298	〒331	048-653-0251……直通
東関東支社冷熱住設課	千葉市中央区新千葉2－7－2〈大宗センタービル〉	〒260	043-241-8432……直通
神奈川支社冷熱住設課	横浜市西区みなとみらい2－2－1〈横浜ランドマークタワー〉	〒220-81	045-224-2621……直通
北陸支社冷熱住設課	金沢市広岡町3－1－1〈金沢パークビル〉	〒920	0762-33-5503……直通
中部支社冷熱住設部	名古屋市中村区名駅3－28－12〈大名古屋ビル〉	〒450	052-565-3221……直通
関西支社冷熱住設部	大阪市北区堂島2－2－2〈近鉄堂島ビル〉	〒530	06-347-2341……直通
中国支社冷熱住設部	広島市中区中町7－32〈日本生命ビル〉	〒730	082-248-5411……直通
四国支社冷熱住設部	高松市寿町1－1－8〈日本生命高松駅前ビル〉	〒760	0878-25-0066……直通
九州支社冷熱住設部	福岡市中央区天神2－12－1〈天神ビル〉	〒810	092-721-2190……直通

三菱電機株式会社
〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3〈三菱電機ビル〉

WT01865X02